

蕨市公共施設等総合管理計画（案）に対するパブリック・コメント概要

1. 案 件

蕨市公共施設等総合管理計画（案）

2. 募集期間

平成29年2月1日（水）～2月22日（水）

3. 意見の件数（意見提出者数）

7件（2人）

4. 意見等の概要

No.	意見の概要	市の考え方
1	<p>P35 3) 維持管理・修繕・更新等の実施方針</p> <p>地域防災計画に「防災拠点の避難環境の整備」という項目があるが、市民の安全性確保については、非常時の電源確保の観点から、電源や燃料の多重化による停電対策が肝要である。</p> <p>また、環境への配慮についても、地球温暖化防止対策を推進するうえで、省エネルギー・再生可能エネルギー設備のみならず、エネルギーの高度利用も重要な要素となる。</p> <p>よって、防災拠点となる公共施設の予防保全にあたっては、防災・環境の双方を重視した「コージェネレーションシステム※の導入」を考慮されることを提案する。</p> <p>※コージェネレーションシステム ガスなどにより発電機で電力を生み出しつつ、排熱を利用し給湯や冷暖房に利用するシステム。コージェネレーションは「電力」と「熱」を同時生産する意味をもつ。</p>	<p>本計画(案)は、公共施設等の今後のあり方について基本的な方向性を示すものであり、ご提案頂きました事項に関しましては、個別具体的な方針となることから、記載はいたしません。大規模改修や更新時の新たな設備導入に際しては、コージェネレーションシステムも含めた様々な手法について、メンテナンスの容易性、光熱水費・清掃費や部品・部材交換費用等のランニングコスト低減などの効果を含めて総合的に検討を行ってまいりたいと考えております。</p>
2	<p>P35 3) 維持管理・修繕・更新等の実施方針</p> <p>更新・改修の実施方針の1段落目に記載されている施設機能の充実に向けた各取り組みの担当部署を示してほしい。ユニバーサルデザインの導入とバリアフリー化の推進について福祉総務課を担当にすることは、全ての施設に目を行き届かせる必要があるので困難だと思う。</p>	<p>平成29年度から、新たに公共施設マネジメント担当を設置し、施設の担当部署とも連携しながら、総合管理計画を踏まえた施設管理を進めていく予定です。</p> <p>本市には建築年数の経過した公共施設が多いため、個々の施設へのユニバーサルデザインの導入や、バリアフリー化の推進にあたっては、各施設の管理者等を通して、その把握に努めるとともに、福祉部門を通して、障害のある方などのご意見も伺いながら、進めてまいりたいと考えております。</p>
3	<p>P35 3) 維持管理・修繕・更新等の実施方針</p> <p>平成29年度に予定している中央公民館の耐震補強等工事にあたって、財政・構造上の問題</p>	<p>現在、本市では、公共施設の安全性の確保を優先し、昭和56年以前の旧耐震基準で建築された施設の耐震改修を順次実施してお</p>

	<p>からエレベーターが整備されないことを大変残念に思う。「施設の更新にあたっては、長寿命化の可能性について検討する」とあるが、長寿命化工事を行うと今後何 10 年に渡ってバリアフリーが実現されず、階段を利用できない高齢者・障害者が存在することをどう考えるか。</p> <p>今回の改修費用とバリアフリーを実現した建替え費用を比較したうえで、市の考えを計画内で示してほしい。</p>	<p>り、エレベーターの設置などを含めたバリアフリー化工事につきましては、将来の大規模改修工事に併せて検討してまいりたいと考えております。</p> <p>なお、中央公民館の建替え費用については、具体的な積算は行っておりませんが、平成 29 年度に予定している市民会館・中央公民館・勤労青少年ホームの耐震補強等工事については、3 億 8,920 万円を当初予算案に計上しております。</p>
4	<p>P39 8) 総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針</p> <p>設備の運転監視、点検、保守、整備などについて、民間企業等にアウトソーシングすることも有効との記載があるが、ライフサイクルコスト削減、維持管理コストを含めた精度の高いコスト管理及び確実な省エネの実現などを取り入れた「エネルギーサービス方式による省エネ改修事業※」の導入検討を提案する。</p> <p>※ 省エネ改修事業</p> <p>高効率設備への更新や、周辺設備の診断、運用改善により、老朽設備の整備と省エネ運用を進める長期委託事業。エネルギーサービス事業者が、月額固定料金で、空調熱源設備の設置工事、補助金申請、メンテナンス、故障時の修理、燃料費、最適運用支援など、空調設備等の更新をサポートする。</p>	<p>本計画(案)は、公共施設等の今後のあり方について基本的な方向性を示すものであり、ご提案頂きました事項に関しましては、個別具体的な方針となることから、記載はいたしません。本市におきましても、既に一部の公共施設等のサービスについてアウトソーシングしている実績も踏まえ、今後の公共施設の維持管理等につきましては、省エネ改修事業などのアウトソーシングも含めた様々な手法について検討したいと考えております。</p>
5	<p>P48 13) 公園施設</p> <p>市民公園管理事務所が記載されていない。</p>	<p>P48 13) 公園施設に、「蕨市民公園管理棟」として記載しています。</p>
6	<p>P49 14) その他施設</p> <p>市内にある防災倉庫は、塚越浄水場敷地内の他にも、学校や町会が管理するものがあるが、洪水、内水被害が心配である。市が管理してなくても、「公共施設等総合管理計画」という名称なら、計画に記載できないか。</p>	<p>本計画(案)は、原則として、平成 27 年度公有財産調書に記載している延べ床面積 50 ㎡以上の公共施設を対象としているため、学校に設置した防災倉庫、及び町会が所有・管理する防災倉庫は記載しないものとします。</p>
7	<p>P51 3) 水道施設、4) 下水道施設</p> <p>管路の耐震化は引き続き頑張してほしい。県内市における耐震化率の順位を載せると分かりやすいと思う。</p>	<p>市では、市長マニフェストにおいて「上下水道の耐震化と長寿命化推進」を掲げ、水道事業では、平成 31 年度までに基幹管路の耐震化率 95%を目指しており、これは、全国的にも高い水準となっております。また、下水道事業につきましても、管路長寿命化基本計画を策定し、計画に基づいた工事を 31 年度より実施する予定です。なお、耐震化率の順</p>

		<p>位につきましては、市町単独での事業のほか、複数の市町が共同で事業を実施するなど、事業主体や事業範囲、施設の整備状況が異なることなどから掲載はしないものとします。</p>
--	--	---